

## 5. 山梨県山中湖村

## 山中湖村行動計画策定の経過

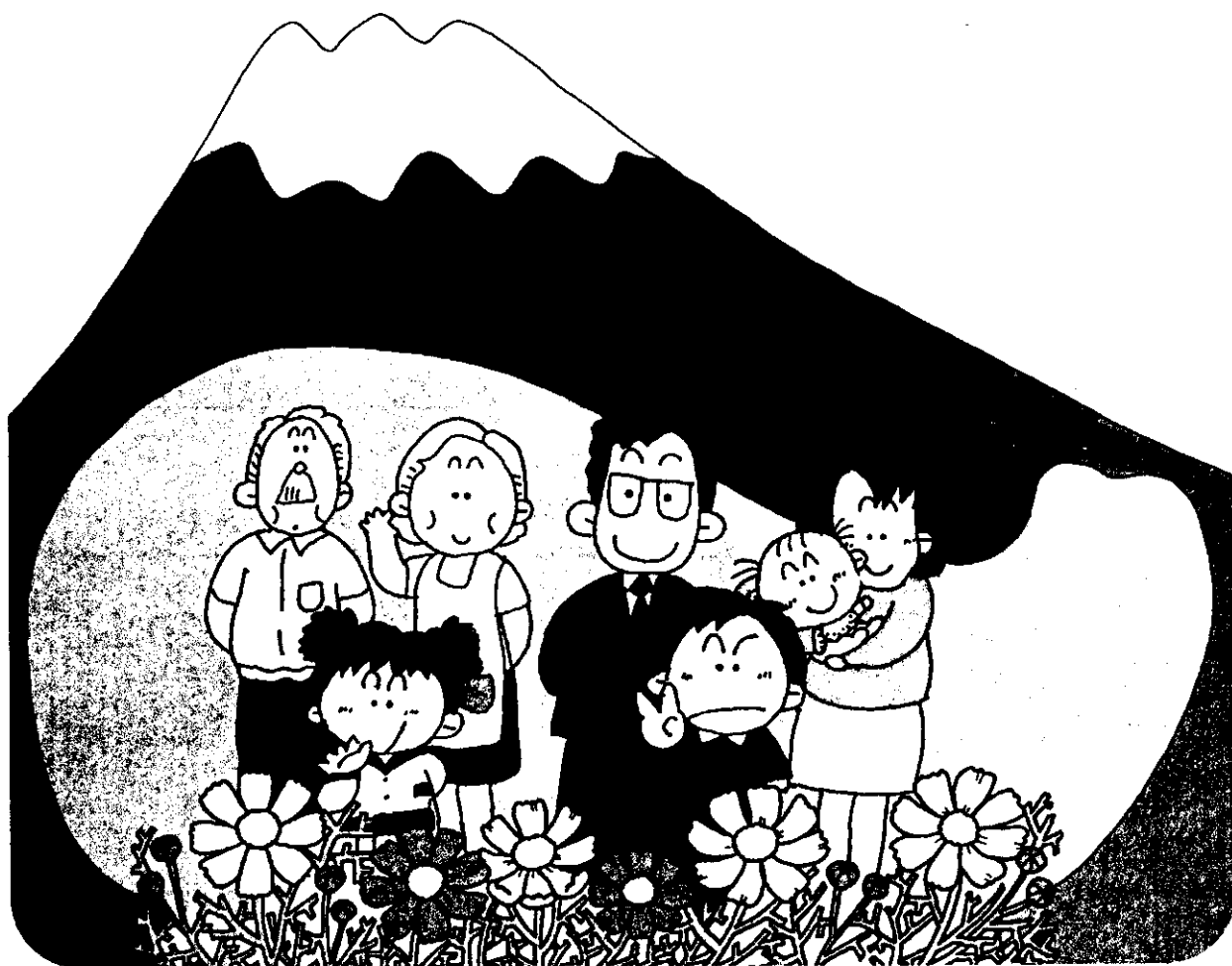
年 月 日	事 項
15・3・28	先行市町村希望の照会
15・4・3	先行市町村策定申請
15・5・6	先行市町村内定
15・6・1	策定委員一般公募（6月号村の広報誌にて掲載）
15・7・9	次世代育成支援対策推進法制定
15・7・15	53ヶ所先行市町村公表
15・7・18	次世代育成支援対策推進法説明会 北都留合同庁舎
15・8・5	先行市町村担当課長会議 厚生労働省
15・8・22	次世代育成支援対策推進法に基づき、行動計画策定指針が策定される
15・8・28	次世代育成支援対策市町村説明会 総合教育センター
15・9・11	庁内検討委員会 ニーズ調査打ち合わせ
15・9・18	"
15・9・19	"
15・9・22	"
15・9・30	"
15・10・2	"
15・10・10	ニーズ調査実施 1052人対象
15・10・31	回収
15・12・5	市町村行動計画策定に係る意見交換会 東八代合同庁舎
15・12・15	先行市町村担当課長会議 厚生労働省
15・12・22	山中湖村次世代育成支援対策地域協議会委嘱状交付式及び第1回協議会概要説明・ニーズ調査について
16・1・21	「子育て座談会」開催 講師 県立女子短期大学 川池智子助教授 山中保育所
16・2・2	母子保健連絡協議会 母子保健におけるニーズ調査の現状と課題について

年 月 日	事 項
16・2・12	第2回協議会 ニーズ調査・行動計画指針について
16・2・16	庁内の現状と課題・中間案・ニーズ調査の自由記述等 庁内ランにて職員に公表
16・2・17	パブリックコメントの実施 山中湖村行政ホームページにて中間案公表
16・2・20	ワークシート入力作業 ヒアリング 県児童家庭課打ち合わせ 老人福祉センター
16・2・23	庁内検討委員会 ニーズ調査の分析・庁内の現状と課題・中間案について
16・2・23	「子育てワークショップ」開催 講師 県立女子短期大学 川池智子助教授 老人福祉センター
16・3・1	パブリックコメントの実施 広報誌「広報やまなかこ」にて中間案公表
16・3・2	母子保健連絡協議会 母子保健における16年度以降の対策について
16・3・3	担当課ヒアリング 講師 県立女子短期大学 川池智子助教授
16・3・5	南都留管内保健師業務研究会 次世代行動計画について
16・3・8	行動計画進捗状況について「子育て座談会・子育てワークショップ議事録・ 庁内ヒアリングのまとめ」等庁内ランにて職員に公表
16・3・9	第3回協議会 「支援策について 講師 県立女子短期大学 川池智子助 教授との懇話会」・目標事業量について
16・3・11	保育士検討委員会 ニーズ調査の自由記述及び16年度保育所体制につ いて 老人福祉センター
16・3・16	素案について打ち合わせ 県立女子短期大学 川池智子助教授
16・3・18	目標事業量について 県児童家庭課打ち合わせ 県庁
16・3・19	「高村村長と川池智子助教授 対談 子育て支援について」 素案について打ち合わせ
16・3・23	第4回協議会 経過報告及び内容説明、村へ答申
16・3・24	パブリックコメントの実施 山中湖村行政ホームページにて素案公表
16・3・29	庁内幹部会（課長会議）承認
16・3・31	計画書公表

# げんきに生まれ育つ やまなかこっ子計画

山中湖村 次世代育成支援地域行動計画

ダイジェスト版



山中湖村

# はじめに

見所がいっぱいの山中湖村です。中でもとびきり大切な宝が三つあります。

ひとつ 天までとどきそうな日本一の富士山

ひとつ 富士五湖のなかで一番ひろい くじらの形 山中湖

そして、耳を澄ますと聞こえてくる、パタパタ、キャキャ

村の道を駆け抜けてくるのは笑顔いっぱいの子どもたち、

そう、山中湖の子どもたちは、わたしたちの村のかけがえない宝です。

けれどもそんな子どもたちにおしよせる少子化の波は、小さな波をたてて、

静かにここ山中湖にも迫ってきています。

この計画書は、これからの村にさらなる少子化を進めさせないために、子どもたちが健やかに育つために、そしてその子どもたちが山中湖村の将来をしっかりと受け継いでいけるように、村の人たちの知恵や願いをこめたものです。

若い人たちが、この村で子どもを産み育てたいといえるような環境作り、子どもたちが、風光明媚なこの村を愛し、おとしよりや幼い子を大切にできる人に育つような環境作り、一人一人の個性・能力を伸ばし、いきいきと成長していけるような環境作りに向けて、村が一丸となって取り組むこと、それが山中湖の将来を大きく切り開き輝かしていくことにつながります。

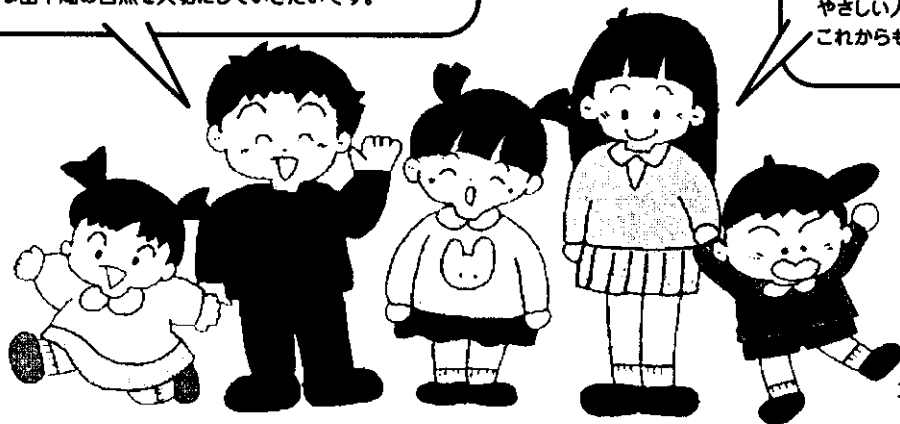
「山中湖について」

山中小 6年 成島直央さん

ぼくは、山中湖村に住んでいます。山中は、湖があります。そこには白鳥もいます。つりをすれば、ブラックバスなどもつることが出来ます。そして、こおった湖に乗ってわかさぎ釣りをする人もいっぱいいます。また山中湖はとても富士山がよく見えます。だから、休日になると山中に、とても多くの観光客が来ます。ぼくは、山中に生まれてとてもよかったと思います。山中はとても空気がおいしく、とても住みやすいところです。これからも、そんな山中湖の自然を大切にしていきたいです。

「友達」

東小 6年 畑綾菜さん  
ともだち たったの78人  
すくないなあ…  
全校なのに…  
先生入れても  
百人いかないなんて  
でも  
すくなくとも  
やさしい人もいる  
これからも…よろしく



文責:みずうみ(山中小)  
・白鳥(東小)より

…子どもたちの将来の夢はさまざまです。おとなの世代の命・夢をうけつぎ未来をつくる子どもたちのために、…

そんな思いをこめて「ニーズ調査、子育て座談会や子育てワークショップ」等を実施し村民の皆様のご意見を頂戴するなかで、「げんきに生まれ育つ やまなかこっ子計画」をここにまとめました。

村では、村民の皆様はこのダイジェスト版で、この計画の趣旨等をお知らせし、村全体で「村のたから」子どもたちを、支えるためのご理解とご協力をお願いするものです。

平成16年3月

山中湖村長

高村 朝次

# 次世代育成支援地域行動計画とは…

## 計画の趣旨

わが国は、平成15年の高齢者人口の割合が19.0%に達し、一方15歳未満の子どもの数は14.1%と最低を更新しました。また、平成18年(2006年)をピークに総人口が減少すると予測されています。

山中湖村では平成15年度の高齢者人口の割合が17.4%を示し、14歳以下の年少人口の割合は15.1%と最低数値の更新が続いています。

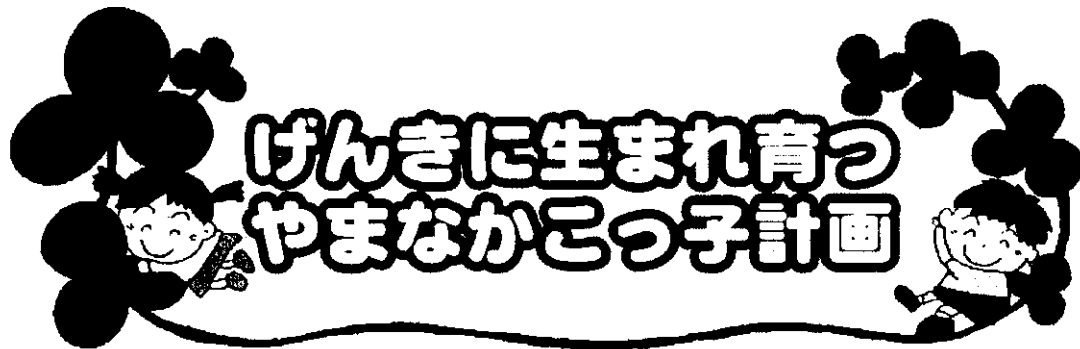
国では、このような少子化の流れを変えるため平成15年7月に「次世代育成支援対策推進法」を制定し、本村も、子どもと子育て家庭を取り巻く環境のさまざまな変化に対応して、子どもの成長と子育てを地域全体で支援し、子どもが尊重され、子育てが大切にされる社会を計画的に構築するための指針として、率先してここに「山中湖村次世代育成支援行動計画」を策定しました。

なお、本村では行動計画の策定にあたり、平成16年度末までの策定が義務づけられている中で、全国53の先行策定市町村の指定を受け、平成15年度中に1年先行して策定に取り組んでまいりました。

## 計画の目標

「山中湖村次世代育成支援行動計画」は、子どもが健やかにげんきに成長できるよう、家庭や地域、学校、保育所などが、子どもが何を求めているのか、子どもにとって何が必要なのかを考え、子どもたちの権利が尊重される新しい子育て支援社会を構築していけるように策定する子育て計画です。そして、その子どもたちを育てる、父親、母親や、これから子どもを生み育てる次世代の親が、子育てに対する喜びを実感することができ、また子育ての意義について理解を深めることができるように地域全体で支援していきます。

村としては、この行動計画を



として、目標に向かって行動します。

## 計画の期間

この計画の期間は、平成16年度(2004年)を初年度、平成26年度(2014年)を目標年次とする11か年計画とし、平成21年度に計画の見直しを行います。

# 計画のポイントと支援目標

## 計画のポイント

本村では、「子どもは宝、地域全体で応援していくために」  
以下に示す三つの方向性を行動計画において  
大切にすべきポイントとしました。

### 個人

すべての子どもが  
げんきに育つこと

### 家族

すべての親が  
ゆとりを持って安心して  
子育てできること

### 社会

地域社会で  
みんなが子育てを  
温かく見守ること



## 支援目標

行動計画の目指すべき方向性として次の五つを  
「山中湖村次世代育成支援行動計画における基本目標」と定め、  
施策の推進を図ります。

### 1. 家庭の子育てへの支援目標

両親家庭やひとり親家庭、障害のある児童を養育している人など、家庭や施設等ですべての子育てをする人そしてその子ども達に対して、母子保健事業や小児医療に関する事業を含む、様々な子育て支援サービスの充実を図っていきます。

### 2. 仕事をしながら子育てをしている人への支援目標

仕事をしながら子育てをしている人のために、色々な幼児保育サービス・学童サービスの充実を図っていきます。さらに、男性も子育てに参加することができるための働き方の見直しなど、子育てをしながら働きやすい環境づくりを積極的に推進していきます。

### 3. 親と子が共に学び育つ環境づくりのための支援目標

子どもが、次代を担う調和のとれた人間として、豊かな心と体を育み、子どもを生み育てる意義を理解した次代の親となるように、そして親自身も生涯にわたって自己を向上させることができるようにするため、地域の教育環境づくりを図っていきます。

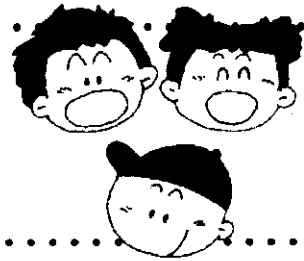
### 4. すべての子どもたちが安心して育つための 安全な環境づくりの目標

子どもを安全に安心して生み育てるためには、安心して伸び伸びと活動できる生活空間が必要です。関係機関等の連携の強化や、公共施設の整備、子どもが自分で自分を守るための教育等、安全で安心して暮らせる地域づくりを推進していきます。

### 5. 地域全体で地域の特色をいかしながら 次世代を育てるための目標

雄大な富士を仰ぎ、山中湖を中心に豊かな自然に恵まれた環境の中で子どもが生まれ育つ喜びや、山中湖村を愛する心を育むために、地域全体で応援していきます。

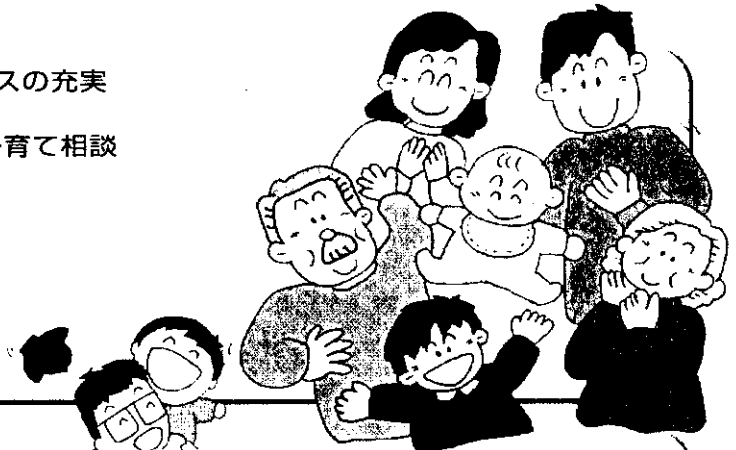
「白鳥」は山中湖のシンボルです。すべてが渡り鳥と思われがちですが、夫婦で仲良く山中湖に住みつき卵を産み、雨の日も風の日も、じっと卵をあたため、ヒナにかえし、親子で寄り添う姿は、次世代の子どもを育てる村の象徴です。白鳥を愛する人々が、深い愛情で見守り、6羽だった白鳥は、今では、26羽に増え、蒼い湖に純白の姿を輝かせています。そんな白鳥に願いをこめ、村の子どもたちも、いつか大空へ飛びたっていけるように、地域全体で応援していこうと考えています。



## 5か年行動計画プラスワン

計画の内容について、基本期間(平成17年~21年)とプラスワン(平成16年)について、支援施策の概要を示します。

- (1) 地域における子育て支援サービスの充実
- (2) 子育て支援のネットワークづくり
- (3) 世代間交流の推進、園庭開放、子育て相談
- (4) 子どもや母親の健康の確保
- (5) 「食育」の推進
- (6) 思春期保健対策の充実
- (7) 小児医療の充実
- (8) 児童虐待防止対策の充実
- (9) 母子家庭等の自立支援の推進
- (10) 障害児施策の充実



- (1) 保育サービス・学童サービスの充実
- (2) 多様な働き方の実現及び男性を含めた働き方の見直し等
- (3) 仕事と子育ての両立の推進



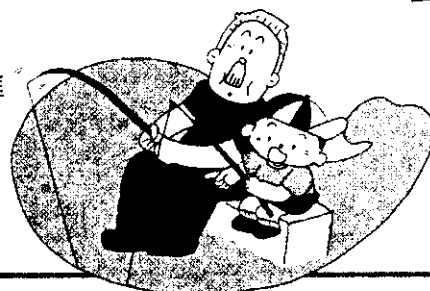
- (1) 子どもの生きる力の育成に向けた学校の教育環境等の整備
- (2) 家庭や地域の教育力の向上
- (3) 国際性を持った子どもの育成
- (4) 次代の親の育成



- (1) 子どもの交通安全を確保するための活動の推進
- (2) 子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進
- (3) 被害にあった子どもの保護の推進
- (4) 子どもを取り巻く有害環境対策の推進
- (5) 安全な道路交通環境の整備
- (6) 安心して外出できる環境の整備



- (1) 子どもと大人が地域で共に学ぶ活動の推進
- (2) 高齢者の知恵や力を子育て・子育てに生かす活動の推進
- (3) 地域の特性を生かした児童の健全育成



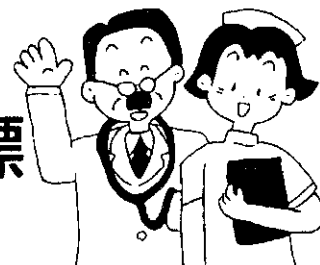


# 子育て支援サービスの目標値

子育て支援サービスなどの目標値等を下記の通りとし、具体的な取り組みを推進します。

子育て支援サービス項目	平成15年度 実施事業量等	平成21年度 目標事業量等	目標達成 予定年度
放課後児童クラブ	—	1カ所・30人	平成21年度
児童館	—	1カ所・50人	
乳児保育	1カ所	2カ所	
一時保育	—	1カ所・10人	平成16年度
親子つどいの広場	—	1カ所	
子育て支援センター 保育所併設型	—	1カ所	平成16年度～平成21年度 まで継続
通常保育(4月1日) 定員	2カ所・260人	2カ所・260人	
待機児童数	0人	0人	
開設時間	8:30～16:30	8:30～17:15	平野保育所 平成16年度 7月～9月試行 平成17年度実施
延長保育	1カ所・40人	2カ所・70人	
子育て相談員 子育てサポーター	—	年5名	平成17年度～平成21年度 まで継続実施
子育て支援交流事業	—	年6回	
子育てハンドブックの作成・配布	—	1回	平成21年度
子育て情報誌の作成・配布	—	村の広報誌利用 毎月1回	平成17年度
子育て支援ホームページの開設	—	1回	
第三子からの保育料免除 (就学前2年間)	—	—	平成17年度～平成21年度 まで継続
村民プールの無料化 中学生まで(学校教育)	—	—	
中高校生のふれあい交流事業	—	1カ所・2回・30人	平成17年度～平成21年度まで継続実施
保育サービス第三者評価	0カ所	2カ所	平成21年度
文化創造ふれあい事業 (児童環境づくり)	1回 500名	各年1回・550名	平成16年度～平成21年度 まで継続実施
絵本の読み聞かせ事業	—	毎月1回	
園庭の開放	—	毎月1回	
虐待防止ネットワークの設置	—	1カ所	平成16年度
虐待件数	—	0件	
男女共同参画社会実現に向けた条例制定	—	—	平成16年度
こども110番の家	山中小23軒 東小15軒	山中小50軒 東小30軒	平成21年度
ブックスタート事業	—	乳児健診時 毎回	平成16年度～試行実施 平成17年度～平成21年度まで継続実施
医療機関ガイドマップの配布	—	1回	平成16年度～平成21年度 まで継続実施
妊娠届日の指定	—	毎週月曜日	
妊婦食生活支援事業	—	年3回	
食育情報パンフレットの作成・配布	—	年4回	平成17年度～平成21年度 まで継続実施
離乳食支援事業	—	年4回	
幼児親子食育事業	年1回	年4回	平成17年度～平成21年度 まで継続実施

# げんきに生まれ育つ」ための「元気っ子」を支える健康目標



子育て支援を進めるためには、「健康第一」でなければなりません。そこで村では、支援目標とあわせて健康目標も設け推進します。

保健水準の指標	平成15年度 現状	平成21年度 健康目標
<b>乳幼児健診受診率</b>		
4ヵ月児健診	95.1%	100%
1歳6ヵ月児健診	91.1%	100%
3歳児健診	88.2%	100%
<b>予防接種</b>		
1歳までにBCG接種を終了している者の割合	62.5%	95%以上
1歳6ヵ月までに3種混合を終了している者の割合	81.1%	95%以上
1歳6ヵ月までに麻しんを終了している者の割合	85.4%	95%以上
<b>幼児期のう蝕</b>		
う蝕のない子どもの割合	40%	80%以上
<b>乳幼児事故予防</b>		
事故防止対策をとっている世帯の割合	12ヵ月児 63%	100%
	7ヵ月児 52%	
	4ヵ月児 63%	
事故件数	1歳6ヵ月児 14件	減少傾向
	3歳児 22件	
<b>思春期保健対策</b>		
喫煙 中1～中3	喫煙経験あり 27.7%(男子)・20.9%(女子)	喫煙者をなくす
飲酒 中1～中3	飲酒経験あり 67.3%(男子)・74.7%(女子)	飲酒経験者をなくす
薬物乱用の有害性について 正確に知っている者の割合	1回使っただけでも死亡することがある 28.5% 全く知らない 17.1%	100%

「食育」推進のための指標	平成15年度 現状	平成21年度 健康目標
<b>おやつを食べる時間を決めていない</b>		
1歳6ヵ月児	35.9%	10%以下
3歳児	28.3%	5%以下
<b>ジュース類をたくさん飲む</b>		
1歳6ヵ月児	8.8%	5%以下
3歳児	13.2%	5%以下
<b>牛乳摂取量1日100cc以下である</b>		
1歳6ヵ月児	43.8%	10%以下
3歳児	28.3%	5%以下
<b>毎日朝食を食べる</b>		
未就学児	77%	95%以上
小学生	87.3%	95%以上
中学生	70.5%	95%以上
18歳～35歳女性	76.8%	95%以上
<b>子どもだけで朝食を食べる</b>		
中学生	43%	10%以下
<b>食事時間が楽しい</b>		
中学生	45.1%	90%以上
<b>食事のあいさつをする</b>		
小学生	57.1%	90%以上

# こどもたちの姿



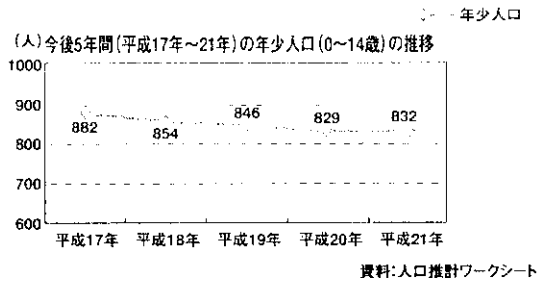
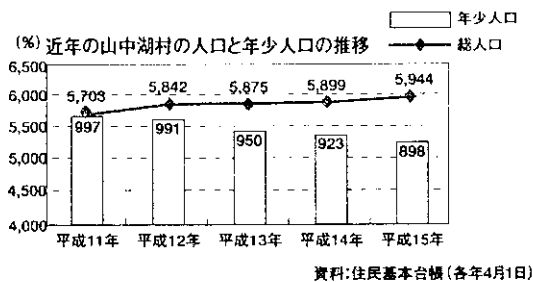
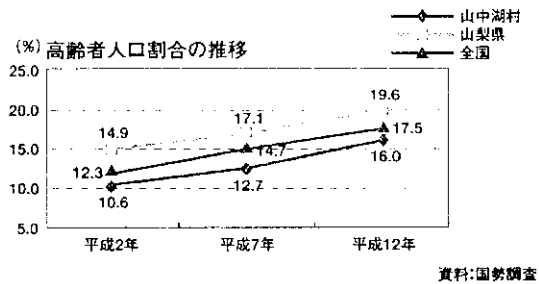
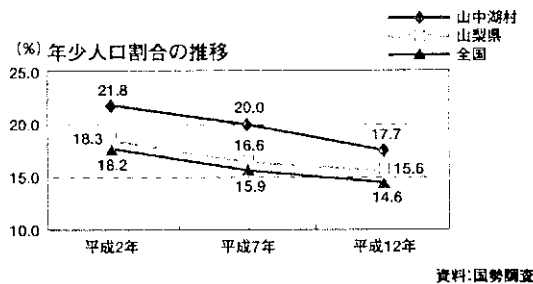
## 少子化の現状

わが国の合計特殊出生率※は、昭和50年に2.0を割った後、ほぼ一貫して低下し続け、平成14年には、1.32となり、現在の人口を維持するのに必要な2.08を大きく下回っています。本村の合計特殊出生率も国の数値より高率で推移しているとはいえ、平成2年の1.85から平成12年の1.53へ0.32ポイント減少し、低下傾向を示しています。また平成15年4月1日における人口は、5,958人で長期的にみると増加傾向を示していますが、国勢調査では平成7年に比べて平成12年ではやや減少しています。

※合計特殊出生率とは、15歳から49歳までの女性の年齢別出生率をすべて足した数字で、一人の女性が一生の間に出産する子供の平均の数を表しています。

## 年少人口(0~14歳)と高齢者人口(65歳以上)の割合の推移

年少人口(0~14歳)と高齢者人口(65歳以上)の推移をみると、年少人口は徐々に減少し平成2年から平成12年の10年間に4.1%減少しています。一方、高齢者人口は5.4%の増加を示しています。また、住民基本台帳による高齢者人口は平成11年4月1日から平成15年4月1日の間に241名の増加が認められます。それに対して年少人口は997名から898名の減少となっています。



## 少子化のリスク

少子化の進行は、子どもが豊かな人間関係を築いていく機会や場を減少させ、ふれあいを通じて培われる思いやりなどの人格形成を阻害するおそれがあり、また年金などの社会保障費用にかかる現役世代の負担の増大、若年労働力の減少による社会の活力の低下などの影響が予想されます。

こうした状況を踏まえて、子ども自身が健やかに成長し、両親が子育てに喜びを見出し、安心して子どもを生み育てることのできる地域社会を形成していくことが必要です。



発行/山中湖村役場 福祉健康課

〒401-0595 山梨県南都留郡山中湖村山中237-1

TEL.(0555)-62-1111(代) FAX.(0555)-62-3088 E-mail voice@viii-yamanakako.com

編集/山中湖村 次世代育成支援地域行動計画協議会 発行日/平成16年3月

企画制作/日本医療情報システム株式会社 印刷/株式会社 石田大成社